

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

平成31年01月30日

計画の名称	岡富古川地区（2期）都市再生整備計画												
計画の期間	平成31年度～平成35年度（5年間）								重点配分対象の該当				
交付対象	延岡市												
計画の目標	誰もが安心・快適に住み続けられる環境に優しいまちを整備し、人口の定着を図る。 目標1：安心・安全な居住環境と良好な社会基盤の形成 目標2：潤いと活気に満ちた交流の場の形成 目標3：持続可能な市民協働のまちづくりの推進												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	1,198	A	1,198	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		平成30年度末	平成33年度末	平成35年度末
1	地区内の純人口増加数を0人から60人増加させる。 地区内の人口純増数を算出する。	0人	30人	60人
2	地区内の公園愛護会の加入率を0%から50%に増加させる。 地区内の公園に対する公園愛護会の団体加入の割合を算出し加入率を計上する。	0%	0%	50%
3	地区内における浸水予想家屋数を45戸から0戸に減少させる。 地区内における浸水予想家屋数を計上する。	45戸	0戸	0戸

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	地域再生計画を含む
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	-----------

A 基幹事業																			
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H31	H32	H33	H34	H35			
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
都市再生整備計画事業	A10-001	都市再生	一般	延岡市	直接	延岡市	-	-	都市再生整備計画(岡富古川地区)(A-1)	区画整理、公園整備等	延岡市						1,198		-
												小計						1,198	
											合計						1,198		

交付金の執行状況

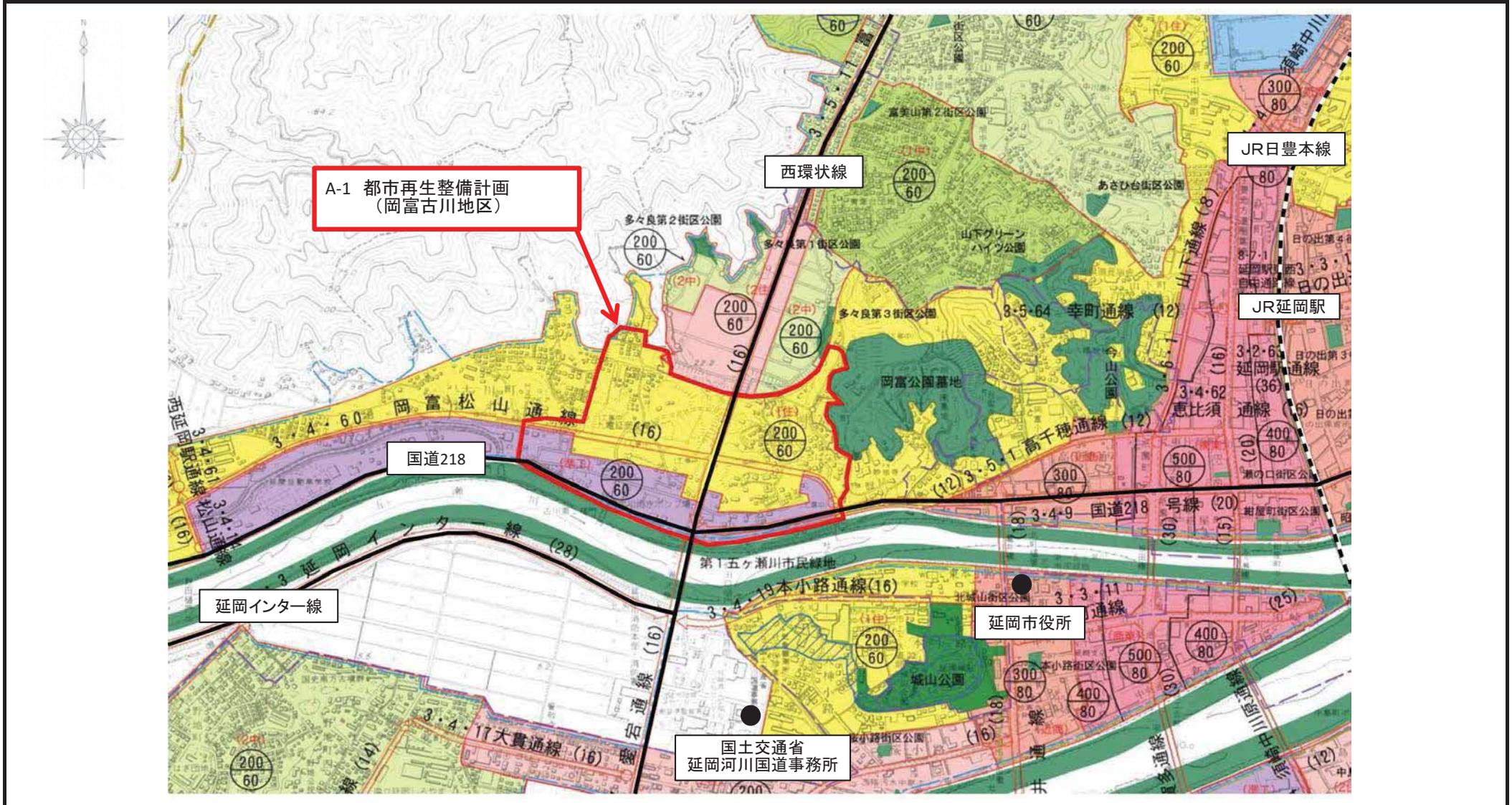
(単位:百万円)

	H31	R2	R3	R4	R5
配分額 (a)	162.000	98.000	79.000	8.200	
計画別流用 増△減額 (b)	0.000	42.000	0.000	0.000	
交付額 (c=a+b)	162.000	140.000	79.000	8.200	
前年度からの繰越額 (d)	0.000	35.303	55.932	13.794	
支払済額 (e)	126.697	119.371	121.138	13.798	
翌年度繰越額 (f)	35.303	55.932	13.794	8.196	
うち未契約繰越額 (g)	3.971	5.661	4.492	8.196	
不用額 (h = c+d-e-f)	0.000	0.000	0.000	0.000	
未契約繰越＋不用率 (h = (g+h)/(c+d))	2.5%	3.2%	3.3%	37.3%	
未契約繰越＋不用率が10%を超えている 場合その理由				R5年度実施 箇所をR4年 度の補正で 対応したた め	

※ 平成31年度以降の各年度の決算額を記載。

(参考様式3) 参考図面

計画の名称	岡富古川地区(2期)都市再生整備計画		
計画の期間	平成31年度 ~ 平成35年度 (5年間)	交付対象	延岡市



事前評価チェックシート

計画の名称： 岡富古川地区（2期）都市再生整備計画

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 都市再生基本方針との適合等 1) まちづくりの目標が都市再生基本方針と適合している。	○
I. 目標の妥当性 都市再生基本方針との適合等 2) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 1) 地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 2) まちづくりの必要性という観点から地区の位置づけが高い	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 5) 地域資源の活用はハードとソフトの連携等を図る計画である。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 地元の熱意 1) まちづくりに向けた機運がある。	○
III. 計画の実現可能性 地元の熱意 2) 住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	○
III. 計画の実現可能性 地元の熱意 3) 継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○

事前評価		チェック欄
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境	2) 交付期間中の計画管理(モニタリング)を実施する予定である。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境	3) 計画について住民等との間で合意が形成されている。	○